

バラ科 キイチゴ属

フユイチゴ (冬莓)

Rubus buergeri Miq.

自生環境

山林、林縁 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



山に行けば特に珍しいものではありませんが、野田市内では自生が極めて限られています。そのため、開発などの土地改変で、一気に全滅してしまう可能性があります。

市内の分布状況

本来山に生える植物だからか、市内ではごく稀にしか見られません。

自生環境保護のため 場所は非公開です

特徴

☆ 関東地方～新潟県よりも西の地域に分布し、山地の林内にごく普通に生えるつる性の常緑低木です。つるはしなやかで地を這うようにしてのびていき、ところどころから根を出します。茎や葉裏には茶色い毛がびっしりと生えていますが、ほかのキイチゴ類に見られるような刺はほとんどありません。葉はかたくて丈夫で、葉表は毛が少なく光沢があります。

☆ 花期は 9～10月ごろで、小さな白い花が数個ほど集まって咲きます。花びら、がくともに 5 枚で、中心には多数の雄しべがびっしりとあります。

☆ 果実はいわゆるキイチゴで、11～翌 1 月に鮮やかな赤色に熟します。甘酸っぱくてなかなかの美味です。生食のほか、ジャムやジュースなどにして利用することができます。

年末に収穫できる木莓

キイチゴ類の多く春～初夏に開花し、初夏～夏にイチゴが熟します。野田市周辺で比較的良好に見られる野生種はナワシロイチゴやモミジイチゴ、クサイイチゴですが、いずれも初夏～夏が収穫期です。栽培種のブラックベリーやラズベリーの類も、主な収穫期は夏です。そのためフユイチゴは、数少ない「冬のキイチゴ」と言えます。冬の野山歩きでぜひフユイチゴの赤い実を探してみたいのがいいでしょう。

花は秋に咲く



花の直径は 1.5cm ほど。
花びら、がくともに 5 枚



イチゴは冬の初めごろに熟す



イチゴは赤く熟す。
食べると甘酸っぱくて美味しい



葉の表側は毛が少なく、
光沢がある



葉の裏側やつるには、
茶色の短い毛がびっしり



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

